

令和5年度岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所 機関評価結果票

1 運営方針及び重点分野	非常に優れている 人	優れている 6人	妥当 人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<b>助言、指摘事項等</b> 1. 他の都道府県に真似できない革新的技術開発を掲げ、特に岡山県の特産品などを研究材料にした研究を進めていると思います。研究成果等を県内企業や農家の方に還元されていると思いますが、一般の方の生活面でより身近なところで研究成果を還元できる、情報発信するシステムを検討されても良いかと思えます。 2. 農林水産業の振興に資する問題解決型の研究がなされていると思います。各研究所への連携も求めて、ニーズに基づいた研究が行われていると感じました。 3. 運営方針は明確だと思います。また、「県下の農林水産業の振興に資する問題解決型」であり、「実用化を見据えた研究の推進」という方向性もよいと思います。その上で他県との差別化やオリジナリティをもっと運営方針の中に打ち出していけば、さらに注目度も高まり士気も高まるのではと思います。					
2 組織体制及び人員配置並びに 予算配分	非常に優れている 人	優れている 1人	妥当 3人	見直しが必要 2人	全面的見直しが必要 人
<b>助言、指摘事項等</b> 1. 岡山県の予算に加えて、継続して外部資金を獲得されていることは高く評価できます。 2. 全国的に博士後期課程に進学する学生が少なくなっているのが現状ですが、流動研究員のシステムを含めて抜本的な組織改革の検討が求められる時期に来ていると思います。 3. 本研究所は、必ずしも潤沢な予算を用いた研究が可能な機関ではなく、県は予算配分において、研究員が研究に専念できる環境を整備する必要があり、ブランド力アップによる経済効果を見据えた基礎研究の大切さを再確認する必要があると思われる。 4. いくつかのグループに分かれているが、各グループの人員が少なく、また若い研究者が少ない点が懸念される。今後グループの数を減らして、重点的に推進する課題に集中することを考える必要がある。					
3 施設・設備等	非常に優れている 人	優れている 5人	妥当 1人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<b>助言、指摘事項等</b> 1. 少ない予算の中で、新しい機器や施設改善をされている点は評価に値します。前回も指摘しましたが、分析などに関して外部委託と研究所で購入した機器での分析とをどうバランスをとっているのかについて、報告があると良いように思われます。 2. 電気代の高騰に対応すべく、太陽光パネルの設置による売電システムの運用など努力をされている。また、老朽化した施設の整備費用を外部事業から獲得するなど、自助努力により、施設の整備がなされていると思われる。 3. 特に岡山県の特別電源の予算をうまく活用され、施設、設備等の整備をされている印象がありますが、設備、備品の有効利用に関して、研究所内で利用が極端に少ない機器の外部機関への開放や、機器更新時の旧機の有効利用に関して検討していただければと思います。					
4 研究成果	非常に優れている 1人	優れている 5人	妥当 人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<b>助言、指摘事項等</b> 1. 論文・学会発表、発明・特許ともに、立派な目に見える成果が示されており高く評価できます。口頭でも指摘させていただきましたように、特許については、スクラップ・ビルドが必要だと思います。自治体特有の問題はあるかと思いますが、特許の性質から考えて、自治体であってもより特許の有効利用のための方策を考えていく時期に来ているかと思っています。 2. 特許も取得されており、論文、学会発表もしっかりされており研究成果の足跡がしっかり伺えます。ただ、運営方針にある活力ある農林水産業実現、県民生活の向上を目指していることから、どの程度実用化されて上記に貢献できたかを明確にする必要があるのではとも考えます。 3. 論文発表や特許等は順調に成果を出されていると思います。コロナ禍でオンラインによる学会発表が増えたことにより、学会発表数が減っているのが気になりましたが、研究者間の交流が少なくなると思いますが、学会や学術的な貢献も含めて学会発表数の維持も重要かと感じました。					

5 技術相談・指導、普及業務、行政検査、依頼試験、情報提供等所掌業務の実施状況	非常に優れている 人	優れている 5人	妥当 1人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<b>助言、指摘事項等</b>					
<p>1. 生物科学研究所の成果の一部を全国の別の研究機関と協力して、広報し、利用拡大を図っている点は非常に高く評価できます。</p> <p>2. 個別問い合わせを問い合わせで終わらすのではなく、有意な情報は事例集として出版等して情報発信していただきたい。</p> <p>3. しっかりと相談・指導、普及等はできていると感じました。この成果をもっと広く全体（生産者等へ）周知してもよいのではないのでしょうか。</p>					
6 人材育成	非常に優れている 人	優れている 1人	妥当 3人	見直しが必要 2人	全面的見直しが必要 人
<b>助言、指摘事項等</b>					
<p>1. 全国的に博士後期課程に進学する学生が少なくなっているのが現状であるが、流動研究員のシステムの再検討や、研究志向の人材が少ないかもしれませんが岡山県農業大学校の卒業生へのフィールド活動における人材育成などにも貢献されてもよいと思いました。</p> <p>2. 流動研究員をポストクに限定せず、採用する可能性を探ることを検討していく時期に来ていると思います。現在の日本の大学院（博士課程）進学状況から、ポストクを継続的に雇用していくのは難しいと思われれます。</p> <p>3. 当研究所の研究のための人材育成であり若い研究者を多く育てることは必須だと感じました。これには予算の都合もあるでしょうがやはり研究所ですので専門的研究員を多く育てるべきだと感じました。</p>					
7 他機関との連携	非常に優れている 人	優れている 5人	妥当 1人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<b>助言、指摘事項等</b>					
<p>1. より多くの機関・大学と連携が進んでおり、優れた活動をされていると思われるが、一部の研究グループに偏ることのないように配慮が必要と思われる。</p> <p>2. 岡山県のセンター内での連携は着実に進んでおり、高く評価できます。岡山県以外の組織との連携も継続して多く実施されており、それも評価に値します。</p> <p>3. 農林水産総合センター内での連携や県立研究機関協議会での県内研究機関との情報共有などを積極的に進めています。特に県内研究機関との共同研究などをさらに積極的に進めていただければと思います。</p>					
8 県民・地域への貢献	非常に優れている 人	優れている 3人	妥当 2人	見直しが必要 1人	全面的見直しが必要 人
<b>助言、指摘事項等</b>					
<p>1. 中高生などを対象に夏の体験教室を毎年実施や農福連携も開始されており、県民・地域への貢献も積極的にされています。特に中高生への理系離れに対応するためにも、例えば高校の探究活動へ積極的な協力、発表会や表彰制度等を設けることも高校生に大変刺激になると思います。</p> <p>2. 以前に比べて、前向きな活動がたくさんなされており、評価に値します。これらの貢献や活動が、もっと農業従事者や一般県民に伝わるような広報ができるといいかと思えます。</p> <p>3. 公開シンポジウム等積極的に開催し、地域への貢献をしていると思われる。科学分野への興味関心を県民に持ってもらうために、親子教室など小学生を対象とした夏休み・冬休みを利用したイベントなども計画していただくと、より地域への貢献につながるのではないかと思います。</p>					
9 前回指摘事項への対応	非常に優れている 人	優れている 6人	妥当 人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<b>助言、指摘事項等</b>					
<p>1. 概ね対応されていると思います。研究所の存在意義を高めるような情報公開や情報発信をより積極的に行っていただければと思います。</p> <p>2. 前回の指摘事項にしっかりと対応されている。</p>					

総合評価	非常に優れている 人	優れている 5人	妥当 1人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
------	---------------	-------------	----------	-------------	----------------

**助言、指摘事項等**

1. 限られた人員で研究所の運営や研究成果の公表や県内企業との連携や技術相談への対応等をされていると思います。ただし、流動研究員のシステムをはじめ人材育成に関して抜本的な見直しが必要であると思われます。それに伴って組織の見直しも必要性を感じます。急速に変動している社会に対応し、さらに将来を見越した改革を期待しています。
2. 各グループの研究は、岡山県のみならず世界に通じる素晴らしい貢献がされていると思います。研究成果をより分かりやすく、効率的に広報することが望まれると思います。県民がより安全で安心できる消費生活を送ることが求められる中、「食」の安全は生活の根底にあるものであり、生物科学研究所の研究は素晴らしいものであると思います。今後、持ってアピールしていただきたいと思います。また、超高齢社会は岡山県にも訪れています。健康寿命が延びるように、「健康」に関する興味関心は大きく、生物科学研究所ならではの研究内容ではないかと思います。今後の更なる研究を期待します。家庭菜園などを行う県民が増える中で、だれでも信頼して参考にできる情報誌の発行を期待します。
3. 多くの外部資金を獲得し、また県の需要に沿った製品開発も行い、県の研究所として多くの成果を上げていると評価できる。今後は特色ある研究を重点的に行い、また研究所として製品に対して科学的裏付けを行い、論文として国際誌に発表することを期待している。
4. 全ての研究グループにおいてなされている研究が、学術的な評価の面で高く評価されるだけでなく、岡山県民をはじめとする社会への貢献を念頭に置いて、展開されており、それが目に見える形になってきており、今後とも継続してこのような活動をつづけていただきたいと思います。
5. 生物科学研究所としては限られた人員、予算の中でしっかりと成果を挙げていると思います。もっと広く県民へのアピールは必要であり、特に農業者へ対するアピールも積極的に行うべきと考えます。
6. 限られた予算の中で各グループとも優れた研究成果を出されているかと思います。ただ、今後バイオ業界を取り巻く環境は目まぐるしく変化していくと思いますので、一歩先に社会のニーズを把握していく為にも、外部機関や県内企業など更なる連携や情報収集が必要かと思います。と同時に、更に情報発信を強化していくことで、共創パートナーを増やすことにもつながりますので。